

# 世界のYAMAMURAへ

—— 心と技術を伝えたい ——

株主のみなさまへ

第84期

## 第2四半期決算ご報告

平成24年4月1日～平成24年9月30日



日本山村硝子株式会社

[www.yamamura.co.jp](http://www.yamamura.co.jp)

# 株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社およびグループ各社（以下、当社グループと称します。）の経営ならびに利益配分に関する基本方針、第84期第2四半期累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の事業の概況ならびに諸計算を次のとおりご報告申し上げます。

平成24年12月

代表取締役社長

山村幸治



## 企業の基本理念

基本理念は、当社グループの考え方や行動を支えるもので、企業理念の中心となるものです。



- 人間を尊重し、明るい経営を実現する。
- 心をこめた製品とサービスをもって、快適な生活文化に寄与する。
- 常にイノベーションに挑戦し、燃える集団を目指す。

当社グループの基本理念を組織全体に浸透させ、社会的責任を果たし、持続的な成長を実現することにより、株主・取引先・社員・地域社会の信頼と期待にお応えできると確信しております。

上記の理念をぶれない軸として持ちつつ、事業環境の変化に対応するために改革を進めてまいります。

## 中長期的な会社の経営戦略

当社グループでは日本山村硝子創業100周年となる2014年に向けた4か年の中期経営計画の3年目に入りました。

「世界のYAMAMURAへー心と技術を伝えたいー」のビジョンをさらに浸透させ、「事業構造改革」と「企業風土改革」の2大改革の実現を目指してまいります。

### ①事業構造改革

#### ①パッケージング事業の再編と国際化

国内事業の再編により収益力の向上を目指すとともに、海外での事業拡大を図ります。

#### ②ニューガラス事業の多角化

省エネ、環境分野等、市場拡大が見込まれる分野の研究開発を進めます。

#### ③新規事業とR&Dの推進

世界をリードする技術開発を目指すため、経営資源を投入します。

### ②企業風土改革

#### ④グループコーポレート機能の強化

長期的視野とグループ全体を俯瞰する視野に立ち、経営資源を効率的にコントロールします。

#### ⑤人材基盤の確立

更なる事業の発展のため、多様な人材(ダイバーシティ)の育成を強化します。

## TOPICS

### 研究開発センターの取組みテーマについて

本年5月に竣工した研究開発センター棟では、かねてから進めてきたテーマの事業化に取り組んでおります。

1つはフィルム製立体容器の開発であり、既存のパウチより原材料の使用量を削減することができるなど環境に配慮した容器です。

2つ目は植物工場であり、付加価値の高い品種と栽培技術を研究開発中です。



▲フィルム製立体容器



▼植物工場



▲製作風景



▼完成作品

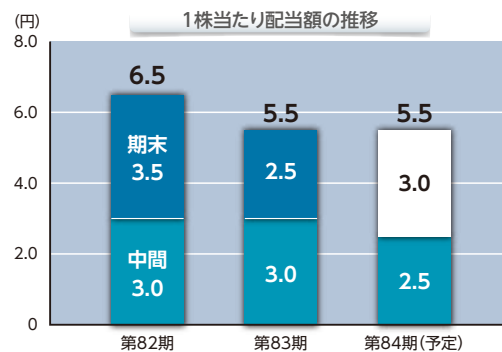
### ガラス工房のイベントのご紹介

当社はキッズニア甲子園(兵庫県西宮市)のオフィシャルサポーターとして「ガラス工房」を運営しております。季節やイベントに合わせて、子どもたちにオリジナルデザインのガラスグッズを製作してもらうなど様々な企画を展開しています。10月に開催された企画「KIDZANIA'S HALLOWEEN」に合わせ、限定ガラス素材や限定デザインシールを投入し、多数のお客様にご来場いただきました。

## 利益分配に関する基本方針および当期の配当

当社は、利益の分配につきましては、年間配当を1株当たり5円以上として、業績に応じた配当を継続的に行うことを基本に、海外への事業展開や成長事業への投資計画、財政状態等を総合的に勘案しながら、積極的に株主のみならずまへの利益還元而努力していきたいと考えております。

これらの方針と業績を総合的に勘案し、当期(平成25年3月期)の剰余金の配当につきましては、中間配当金を1株につき2.5円とし、期末配当金3.0円と合わせ、通期で5.5円とさせていただきます。



## 事業の概況

資産合計は、前会計年度に比べ1,208百万円増加し、93,211百万円となりました。これは現金及び預金が1,936百万円、関係会社出資金が836百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が2,272百万円、有形固定資産が399百万円、関係会社株式が1,760百万円増加したことが主な要因です。

負債合計は、前会計年度に比べ400百万円増加し、41,765百万円となりました。これは借入金の純減500百万円があったものの、支払手形及び買掛金が585百万円、特別修繕引当金が225百万円増加したことが主な要因です。

純資産合計は、前会計年度に比べ807百万円増加し、51,445百万円となりました。これは剰余金の配当により262百万円減少したものの、四半期純利益で442百万円、為替換算調整勘定で704百万円増加したことが主な要因です。

## 連結貸借対照表[要約]

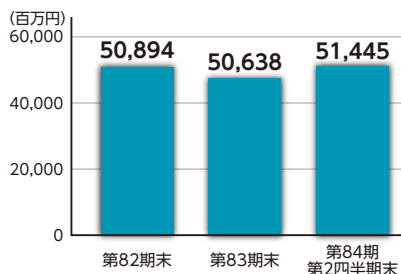
単位：百万円(百万円未満は切捨表示)

| 科目             | 当第2四半期<br>会計期間<br>(平成24年9月30日) | 前会計年度<br>(平成24年3月31日) |
|----------------|--------------------------------|-----------------------|
| <b>資産の部</b>    |                                |                       |
| 流動資産           | 41,057                         | 41,357                |
| 固定資産           | 52,153                         | 50,644                |
| 有形固定資産         | 30,361                         | 29,962                |
| 無形固定資産         | 342                            | 350                   |
| 投資その他の資産       | 21,449                         | 20,332                |
| ● <b>資産合計</b>  | <b>93,211</b>                  | <b>92,002</b>         |
| <b>負債の部</b>    |                                |                       |
| 流動負債           | 18,499                         | 17,252                |
| 固定負債           | 23,266                         | 24,112                |
| ● <b>負債合計</b>  | <b>41,765</b>                  | <b>41,364</b>         |
| <b>純資産の部</b>   |                                |                       |
| 株主資本           | 56,318                         | 56,113                |
| その他の包括利益累計額    | △ 4,917                        | △ 5,520               |
| 少数株主持分         | 45                             | 44                    |
| ● <b>純資産合計</b> | <b>51,445</b>                  | <b>50,638</b>         |
| <b>負債純資産合計</b> | <b>93,211</b>                  | <b>92,002</b>         |

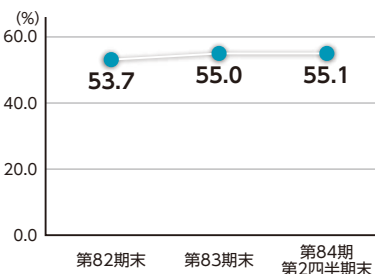
## 推移グラフ(連結)

※第84期(予想)の数値につきましては、平成24年11月5日に公表いたしました(通期業績予想の修正)を反映した値を表示しております。

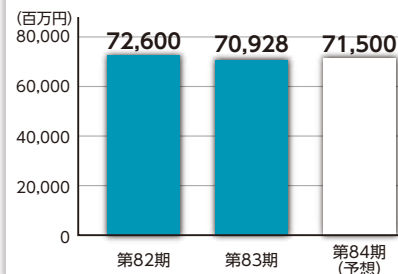
純資産



自己資本比率



売上高



## 連結損益計算書 [要約]

単位: 百万円 (百万円未満は切捨表示)

| 科目              | 当第2四半期<br>累計期間<br>(H24.4.1~H24.9.30) | 前第2四半期<br>累計期間<br>(H23.4.1~H23.9.30) |
|-----------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 売上高             | 37,305                               | 37,362                               |
| 売上原価            | 30,911                               | 30,086                               |
| 売上総利益           | 6,393                                | 7,275                                |
| 販売費及び一般管理費      | 5,793                                | 5,790                                |
| 営業利益            | 600                                  | 1,485                                |
| 経常利益            | 719                                  | 1,818                                |
| 特別損失            | 19                                   | 224                                  |
| 税金等調整前四半期純利益    | 699                                  | 1,594                                |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 445                                  | 1,102                                |
| 四半期純利益          | 442                                  | 1,099                                |

売上高は前年同期比0.2%減とわずかに前年に届かず、営業利益は同59.6%減と減益となりました。

事業セグメント別につきましては、詳細を5~6ページに記載しております。

海外の持分法適用関連会社における遊休資産の減損(171百万円)により持分法による投資利益が237百万円(前年同期比36.6%減)と減少いたしました。

売上債権の増加(2,266百万円)があったものの、税金等調整前四半期純利益(699百万円)と減価償却費(1,875百万円)、仕入債務の増加(642百万円)等により、397百万円の資金増加となりました。

貸付金の回収による収入(741百万円)があったものの、有形固定資産の取得による支出(1,749百万円)と関係会社株式の取得による支出(757百万円)等により、1,783百万円の資金流出となりました。

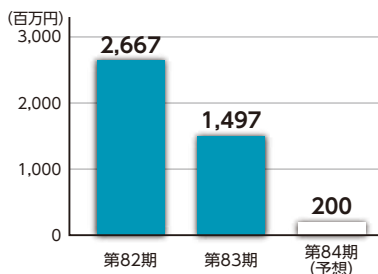
長期借入金の返済による支出(500百万円)等により、810百万円の資金流出となりました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書 [要約]

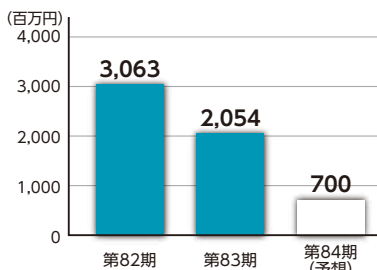
単位: 百万円 (百万円未満は切捨表示)

| 科目                   | 当第2四半期<br>累計期間<br>(H24.4.1~H24.9.30) | 前第2四半期<br>累計期間<br>(H23.4.1~H23.9.30) |
|----------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー     | 397                                  | 1,121                                |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー     | △ 1,783                              | △ 1,767                              |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー     | △ 810                                | △ 1,094                              |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額     | 3                                    | △ 6                                  |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)  | △ 2,193                              | △ 1,746                              |
| 現金及び現金同等物の期首残高       | 10,752                               | 12,106                               |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 256                                  | —                                    |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高     | 8,815                                | 10,359                               |

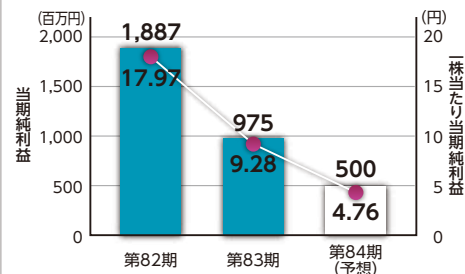
営業利益



経常利益



当期純利益・一株当たり当期純利益





## 事業セグメント別の概況

その他事業 売上高:4,376百万円 (売上高比率:11.7%)

ニューガラス関連事業

売上高:1,934百万円 (売上高比率:5.2%)

物流関連事業

売上高:5,560百万円 (売上高比率:14.9%)

プラスチック容器関連事業

売上高:6,381百万円 (売上高比率:17.1%)

ガラスびん関連事業

売上高:19,051百万円

(売上高比率:51.1%)

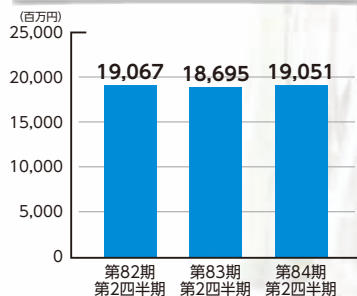
セグメント売上高合計

**37,305百万円**

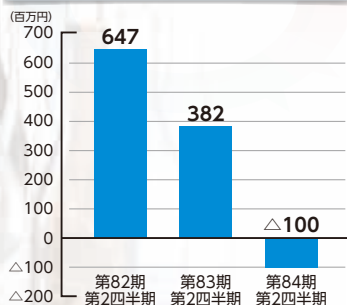
(前年同期比 0.2%減)

### ガラスびん関連事業

セグメント売上高



セグメント利益



セグメント売上高 **19,051百万円**

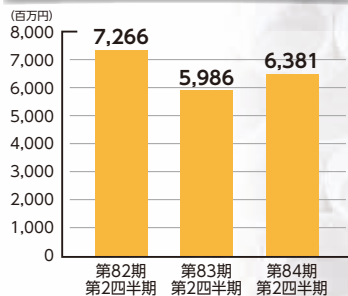
ガラスびんの単価改定と海外向け機械設備の売上伸張により、増収となりました。

セグメント利益 **△100百万円**

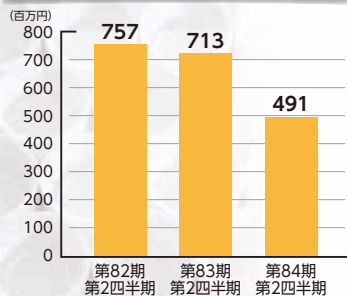
減価償却費・労務費の減少等があったものの、原燃料・電力料金の高騰等により、損失となりました。

### プラスチック容器関連事業

セグメント売上高



セグメント利益



セグメント売上高 **6,381百万円**

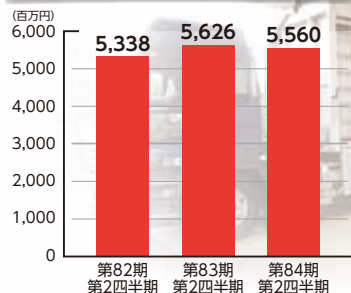
ペットボトル・飲料用キャップの出荷量がともに増加し、さらに、展誠(蘇州)塑料製品有限公司を当会計年度から連結したことにより、増収となりました。

セグメント利益 **491百万円**

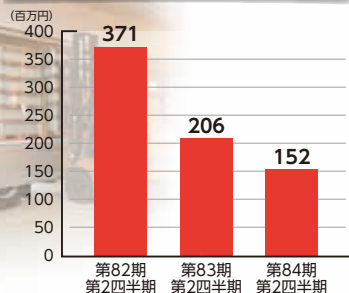
電力料金の高騰等によるコストアップや前会計年度第1四半期において震災の影響による損失を特別損失に振り替えていたこともあり、減益となりました。

## 物流関連事業

セグメント売上高



セグメント利益



セグメント売上高 **5,560**百万円

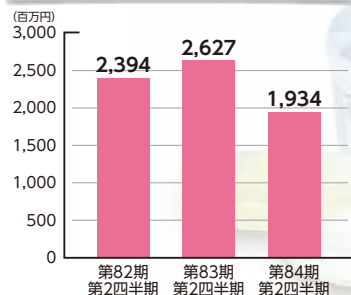
新規顧客の開拓を進めてきたものの、輸送部門の売上減少が大きく響き、減収となりました。

セグメント利益 **152**百万円

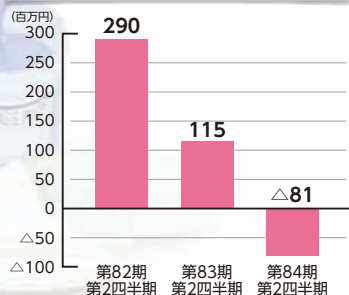
新規受注案件の収支改善が十分に進められなかったこと、既存顧客の単価ダウンやコストアップ等により、減益となりました。

## ニューガラス関連事業

セグメント売上高



セグメント利益



セグメント売上高 **1,934**百万円

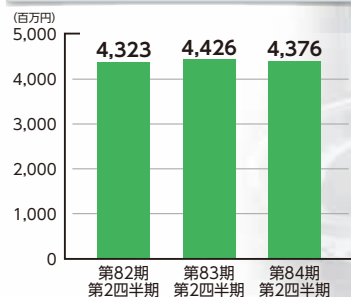
主力製品であるプラズマテレビ用・太陽電池部材用粉末ガラスの出荷が依然として低調に推移しました。また山村フォトニクス株式会社の売上も低調であったため、減収となりました。

セグメント利益 **△81**百万円

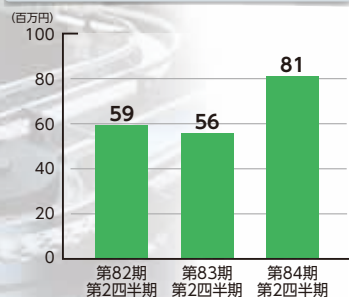
外注費・労務費・減価償却費等の削減に注力したものの、売上減少をカバーしきれず、損失となりました。

## その他事業

セグメント売上高



セグメント利益



セグメント売上高 **4,376**百万円

厳しい経営環境の中、営業活動に注力したものの、減収となりました。

セグメント利益 **81**百万円

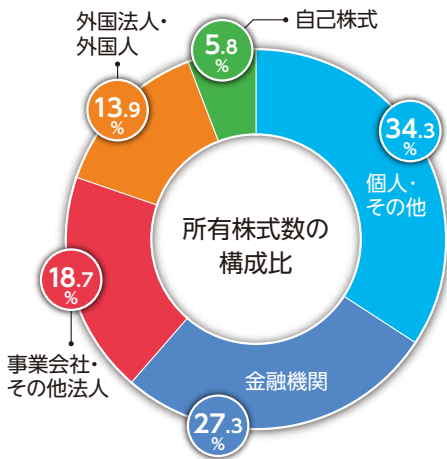
子会社の業績改善が寄与し、増益となりました。

## 株式の状況 (平成24年9月30日現在)

|          |           |
|----------|-----------|
| 発行可能株式総数 | 300,000千株 |
| 発行済株式の総数 | 111,452千株 |
| 株主数      | 10,640名   |
| 単元株式数    | 1,000株    |

## 所有者別株式分布状況

|            | 株主数            | 所有株式数            |
|------------|----------------|------------------|
| 個人・その他     | 10,211名        | 38,201千株         |
| 金融機関       | 36             | 30,497           |
| 事業会社・その他法人 | 287            | 20,866           |
| 外国法人・外国人   | 105            | 15,455           |
| 自己株式       | 1              | 6,430            |
| <b>合計</b>  | <b>10,640名</b> | <b>111,452千株</b> |

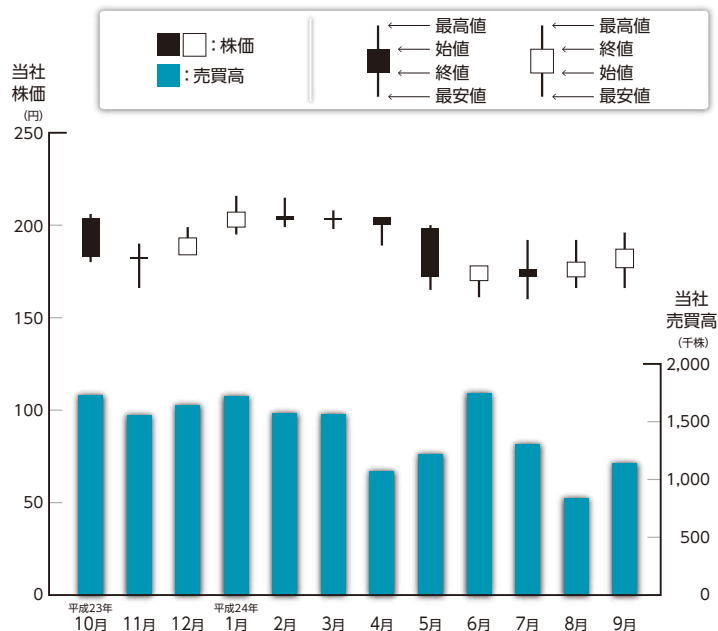


## 大株主の状況

| 株主名                                     | 所有株式数   | 所有株式比率 |
|---|---------|--------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社                    | 9,445千株 | 8.47%  |
| 株式会社三井住友銀行                              | 4,252   | 3.81   |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行                           | 4,231   | 3.79   |
| 三菱UFJ信託銀行株式会社                           | 3,889   | 3.48   |
| 旭硝子株式会社                                 | 3,836   | 3.44   |
| 日本生命保険相互会社                              | 3,552   | 3.18   |
| 日本山村硝子取引先持株会                            | 3,426   | 3.07   |
| クレディスイスルクセンブルグ エスエー オンビハーフ オブ クライアンツ    | 3,400   | 3.05   |
| 山村幸治                                    | 2,973   | 2.66   |
| CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO | 2,398   | 2.15   |

(注) 1. 当社は、平成24年9月30日現在、自己株式6,430千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の持株数には、信託業務にかかる持株数が含まれております。  
 3. 所有株式数は、表示単位で切捨て表示をしております。

## 株価および株式売買高の推移





## 会社情報

### 会社の概要 (平成24年9月30日現在)

|         |   |
|---------|---|
| 商号      | 日本山村硝子株式会社<br>(Nihon Yamamura Glass Co.,Ltd.)                 |
| 本社所在地   | 関西本社<br>兵庫県尼崎市西向島町15-1<br>電話 06-4300-6000(代表)                 |
|         | 東京本社<br>東京都新宿区西新宿6-14-1 新宿グリーンタワービル20階<br>電話 03-3349-7200(代表) |
| 創業      | 大正3年4月5日  |
| 設立      | 昭和16年12月11日   |
| 資本金     | 140億7,496万5,448円  |
| 従業員数    | 1,059名  |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所(市場第一部)<br>大阪証券取引所(市場第一部)                              |
| 会計監査人   | 有限責任 あずさ監査法人  |

### 事業内容

| 事業部門     | 営業品目(内容)                                  |
|----------|---|
| ガラスびん    | ドリンクびん、食料びん、調味料びん、牛乳びん、ビールびん、和洋酒びん、飲料水びん等 |
| プラスチック容器 | 各種ペットボトル、プラスチックキャップ、輸液バッグ等                |
| ニューガラス   | エレクトロニクス用各種粉末ガラス、ガラスペースト等                 |
| エンジニアリング | 製びん関連設備、各種搬送機器                            |

## 役員 (平成24年10月21日現在)

### 取締役・監査役

|         |       |  |
|---------|-------|--|
| 代表取締役社長 | 山村 幸治 | 最高経営責任者<br>最高執行責任者                                 |
| 専務取締役   | 谷上 嘉規 | 環境室管掌<br>コーポレート本部管掌<br>研究開発センター管掌<br>ニューガラスカンパニー管掌 |
| 取締役     | 目鳥 辰也 | ガラスびんカンパニー社長<br>エンジニアリングカンパニー管掌                    |
| 取締役     | 上高 雄樹 | プラスチックカンパニー社長                                      |
| 取締役     | 井上 善雄 | 株式会社巴川製紙所 代表取締役社長<br>(社外取締役)                       |
| 常勤監査役   | 木村 孔一 |  |
| 常勤監査役   | 鈴木 仁  |  |
| 監査役     | 鳥山 半六 | 弁護士<br>(社外監査役)                                     |
| 監査役     | 齋藤 好江 | 公認会計士<br>(社外監査役)                                   |

### 執行役員

|        |                                  |
|--------|----------------------------------|
| 平岩 基一  | 常務執行役員<br>サンミゲル山村パッケージング社 取締役副社長 |
| 河本 光由  | CSR推進室長                          |
| 松久 晴重  | コーポレート本部長                        |
| 野々口 和男 | 研究開発センター長                        |
| 寺岡 茂喜  | ガラスびんカンパニー営業本部長                  |
| 脇本 正己  | ガラスびんカンパニー生産本部長                  |
| 田中 二郎  | プラスチックカンパニー生産本部長                 |

## 事業拠点一覧 (平成24年9月30日現在)

### 関西本社

### 東京本社

#### ガラスびんカンパニー

【営業拠点】 東部営業部、西部営業部、中部営業所、西日本営業所  
 【生産拠点】 東京工場、埼玉工場、播磨工場、大阪工場

#### プラスチックカンパニー

【営業拠点】 東京営業部、大阪営業部  
 【生産拠点】 関西工場、宇都宮工場、川島プラント

#### ニューガラスカンパニー

尼崎プラント、鳴尾浜プラント

#### エンジニアリングカンパニー

## グループ会社一覧 (平成24年9月30日現在)

| 社名                       | 本店所在地    | 主な事業                 |
|--------------------------|----------|----------------------|
| 山村倉庫株式会社                 | 兵庫県尼崎市   | 輸送・保管、構内作業           |
| 星硝株式会社                   | 東京都港区    | ガラスびん・プラスチック容器仕入販売   |
| 山村フォトンクス株式会社             | 神奈川県横浜市  | 電気・電子機器用ガラス部品の製造販売   |
| 株式会社山村製壺所                | 兵庫県西宮市   | ガラスびん製造販売            |
| 山村興産株式会社                 | 兵庫県尼崎市   | 保険代理業                |
| 日硝精機株式会社                 | 神奈川県大和市  | 金型製造販売               |
| 展誠(蘇州)塑料製品有限公司           | 中華人民共和国  | プラスチックキャップ等製造販売      |
| 山硝(上海)商貿有限公司             | 中華人民共和国  | 包装材料・機械設備等の仕入販売、貿易業務 |
| 山村インターナショナル・タイランド        | タイ       | 各種包装資材の仕入販売、貿易業務     |
| 山村ウタマ・インドプラス             | インドネシア   | プラスチックキャップ等製造販売      |
| サンミゲル山村アジア・コーポレーション      | フィリピン    | ガラスびん製造販売            |
| サンミゲル山村パッケージング・コーポレーション  | フィリピン    | 各種包装容器製造販売(フィリピン国内)  |
| サンミゲル山村パッケージング・インターナショナル | 英領バージン諸島 | 各種包装容器製造販売(フィリピン国外)  |

## 買取・買増制度をご利用ください

当社では、単元未満株式(1~999株)の買取制度のほか、買増制度も導入しております。  
単元未満株式をご所有されている株主様はぜひご利用ください。

### ✦ 買取制度

ご所有単元未満株式を当社が買取するように  
請求できる制度

例 当社株式を700株ご所有の場合、その700株を市場価格で  
当社に売却し、代金を受領する。

買取制度

買取請求にて当社に売却  
(700株売却)

売却代金を受領  
売却株式数(700株)×市場価格

### ✦ 買増制度

ご所有単元未満株式を1単元(1,000株)にするために  
必要な株式を買増すように請求できる制度

例 当社株式を700株ご所有の場合、300株を市場価格で  
当社から購入し、1,000株にする。

ご所有株式数 (700株)

買増制度

買増請求にて当社から購入  
(300株購入)

単元株式として所有  
1,000株(700株+300株)

お手続きにつきましては、裏表紙に記載しております「株式に関するお手続きについて」をご参照ください。

### ✦ 会社ホームページのご紹介

当社グループのホームページでは、会社情報を適時  
ご提供しております。

特に、株主・投資家のみなさま向けの情報として決算  
情報、財務情報等を掲載しております。

関係会社のホームページへは当社ホームページから  
リンクしております。是非ご覧ください。

URL <http://www.yamamura.co.jp/>



## 株主メモ

|                   |  |
|-------------------|--|
| 事業年度              | 4月1日から翌年3月31日まで  |
| 期末配当金受領日<br>株主確定日 | 3月31日  |
| 中間配当金受領日<br>株主確定日 | 9月30日  |
| 定時株主総会            | 毎年6月   |
| 株主名簿管理人           | 三菱UFJ信託銀行株式会社  |
| 特別口座の口座管理機関       |  |
| 同連絡先              | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部<br>〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号<br>TEL 0120-094-777 (通話料無料)  |
| 上場証券取引所           | 東京証券取引所・大阪証券取引所  |
| 公告の方法             | 電子公告により行う<br>公告掲載URL <a href="http://www.yamamura.co.jp/">http://www.yamamura.co.jp/</a><br>(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。) |

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で行うこととなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次いたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株式に関するお手続きについて

### ○特別口座に登録された株式

| お手続き、ご照会等の内容  | お問合せ先           |  |
|---|-----------------|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>○単元未満株式の買取(買増)請求</li> <li>○住所・氏名等のご変更</li> <li>○特別口座の残高照会</li> <li>○配当金の受領方法の指定(*)</li> </ul> | 特別口座の<br>口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部<br>〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号<br>TEL 0120-094-777 (通話料無料)  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>○支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>○株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>                                    | 株主名簿<br>管理人     | [手続き書類のご請求方法]<br>○音声自動応答電話によるご請求<br>0120-244-479 (通話料無料)<br>○インターネットによるダウンロード<br><a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a> |

(\*)特別口座に登録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

### ○証券会社等の口座に登録された株式

| お手続き、ご照会等の内容   | お問合せ先                     |   |
|--|---------------------------|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>○支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>○株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul> | 株主名簿<br>管理人               | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部<br>〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号<br>TEL 0120-094-777 (通話料無料) |
| ○上記以外のお手続き、ご照会等  | 口座を開設されている証券会社等にお問合せください。 |   |



この第2四半期決算ご報告はFSC®認証紙と大豆油インキを使用して印刷しております。